

126.10.4

# 嘉手納F15、金属板落とす

## 在沖米軍ことし10件

【嘉手納】米軍嘉手納基地所属のF15戦闘機が2日、飛行訓練中に操縦席の後部に取り付ける重さ約2・5キログラムのチタン合金製パネルを落下させた。防衛省の武田博史報道官が3日の会見で明らかにした。原因や落下地点は不明で、被害情報は確認されていない。同基地所属機の訓練中の部品落下事故はことし5件目、普天間飛行場所属機の部品落下と合わせると計10件目。

落下したパネルの大きさは約55センチ、約32センチの長方形。空中給油中にパイロットが



部品を落下させたF15の同型機

### 今年主な米軍機の部品落下・紛失

- 3・4 嘉手納基地所属のF15戦闘機が風防ガラスを落とす
- 4・2 普天間飛行場所属のAH1攻撃ヘリが燃料タンクのキャップを紛失
- 4・24 嘉手納のHH60救難ヘリがプラスチック部品を落とす
- 5・16 嘉手納のF15が金属部品を落とす
- 5・21 嘉手納のHH60がグラスファイバー部品を落とす
- 6・3 嘉手納のMH60多用途・補給支援ヘリが機中電灯を落とす
- 6・17 普天間のオスプレイが金属部品を落とす
- 8・21 普天間のAH1が給油キャップを紛失
- 9・18 普天間のAH1が金属部品を落とす

気付いたという。沖縄防衛局によると、F15は主に同基地から北東方向の海上で

訓練していた。米軍は2日午後8時45分、防衛局に通報。防衛局は同日9時すぎに県や嘉手納

## 事故頻発 憤る「二連協」

度重なる嘉手納基地所属機の部品落下事故に、嘉手納飛行場に関する三市町連絡協議会（三連協）の会長を務める普山宏嘉手納町長は3日、「改善を求めても何も変わらぬ、いら立ちを覚える」と語気を強めた。

米軍から「安全点検を終えた」との報告があったとし、「しっかりと点検しているのか疑ってしまふ。飛行訓練を中止し、徹底してF15全機の安全点検をすべきだ」と訴えた。今後、三連協で抗議行動について調整する。

北谷町の野国昌春町長は「以前からF15を撤去しろ」と言ってきた。民間地に落ちたら大惨事になりかねない」と指摘。「町民は騒音に悩まされ、落下物の不安も抱えている。政府も米軍

町、沖縄市、北谷町、うるま市に情報を提供した。また、米軍に原因究明や再発防止の徹底などを求め、遺憾の意を口頭で伝えた。同基地の所属機が訓練中に部品を落下させた事故は3月にF15の風防ガラス、4月にHH60救難ヘリの通風孔カバー、5月にF15のエンジン部品、HH60のアテナカバーに次いで5件目と相次いでいる。

を呼び出して説明を受け、もっと強く抗議すべきだ」と怒りをあらわにした。桑江朝千夫沖繩市長は

「安全性をどのように確保しているのかを求めても、回答はなく訓練を再開する。われわれの要求は無視され、強い憤りを感じる」と不信感を募らせた。又吉進知事公室長は「このところ米軍機の落下事故が連続で起きており、極めて遺憾だ。原因究明と再発防止を米軍に申し入れた」と話した。